

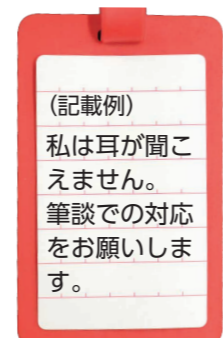
知っていますか？ ヘルプマーク・ヘルプカード

ヘルプマークとは

義足や人工関節を使用している人や難病、妊娠初期の人など、外見ではわからなくても支援や配慮を必要としている人が身に付けることで、周囲に援助などが必要であることを知らせるマークです。ヘルプマークの効力を発揮するには、社会全体の理解が必要です。ヘルプマークの裏面には、配慮の必要なことやどんな病気なのかが書かれています。



ヘルプマーク



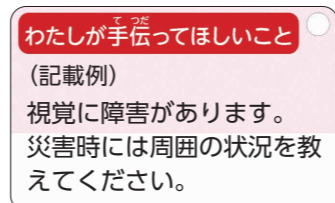
ヘルプマーク裏面

ヘルプカードとは

障害などで困っている人が周りに助けを求めるためのカードです。カードに配慮してほしいことや手伝ってほしいことを記入しておき、いざという時に提示することで「支援が必要な人」と「支援ができる人」をつなげます。ヘルプカードの裏面には手助けしてほしいことが書かれています。



ヘルプカード



ヘルプカード裏面

ヘルプマーク・カードを見かけたら

●バス・電車の中で、席をお譲りください。

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目で見られストレスを受けることがあります。



●店舗等で声を掛けるなどの配慮をお願いします。

事故や突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

●災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。

視覚障害者や聴覚障害者等の状況把握が難しい方、肢体不自由者等の自力での迅速な避難が困難な方がいます。

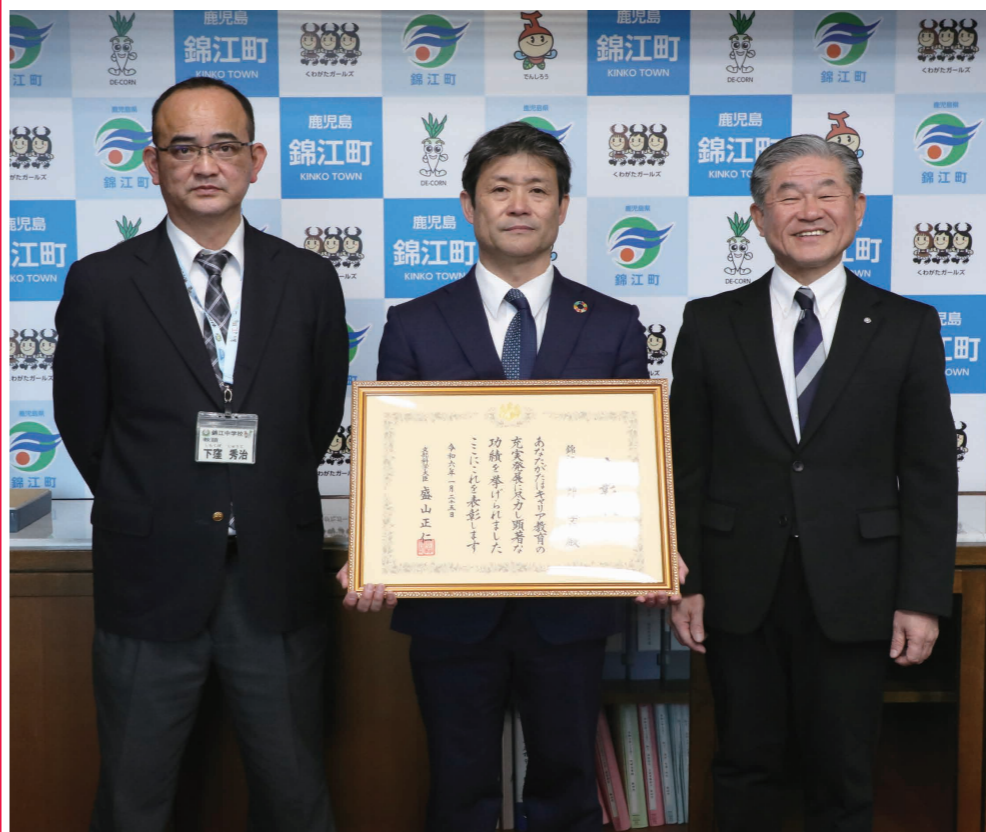


ヘルプマーク・カードの配布窓口

- ・錦江町役場本庁 介護福祉課
- ・錦江町役場田代支所 住民生活課
- ・大隅地域振興局

お問い合わせ先：本庁介護福祉課 ☎ 22-3042 支所住民生活課 ☎ 25-2511

錦江中学校の平國弘明校長は「町を学びの場として、自分たちで課題を実感し、考えていくことが大切。1年生から段階的に成長できるよう取り組みたい」と話しました。



錦江中のキャリア教育活動 文部科学大臣表彰を受賞

キャリア教育に力を入れている学校などに贈られる文部科学大臣表彰を錦江中学校が受賞し、2月1日に町長を表彰訪問しました。授業でキャリア教育の視点を取り入れた実践活動を行っていることや町が進める事業を通じて、町内事業者へのインタビューを基に討議を行い、課題解決策を町に提言する取り組みなどが評価されました。

県下一周駅伝が5日間にわたり開催 肝属チームが総合順位で4位入賞

第71回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が、2月17日から21日までの5日間で行われました。錦江町からは伊藤優輝選手が肝属チーム代表として第2日目の9区に出走し、阿久根から野田までの11.4kmを力走。最終日の21日には錦江町を懸命に走る選手たちに、沿道の観客から大きな声援が送られました。



肝属は総合順位で4位に入賞。5日間で53区間583.3kmを走る県下一周駅伝は、現存する駅伝で世界最長とされています。

江戸時代に数えて15歳を祝う行事として立春に行われていた元服。当時は成人を祝う行事で大人としての自覚を深める目的でありました。



田代中2年生が立志式で目標や決意を発表 将来への決意を新たに大きな一歩

2月2日に田代中学校で大人への第一歩を踏み出してほしいと立志式が行われました。2年生13名が雲外蒼天や一意奮闘などそれぞれ選んだ言葉に自分を重ね、将来の目標や決意を発表。未来づくり専門員の伊藤愛さんによる講演会も行われ「あなたの好きを大切に、なりたい大人になってほしい」とエールを贈りました。